

「企業の情報化に関する実態調査」について (アンケート調査結果)

調査実施概要

(調査目的)

昨年実施した「企業の情報化に関する実態調査」をベースに、一年後の小・零細企業における情報化の進展状況を把握するため。

(調査時期)

平成13年7月上旬～8月下旬

(調査対象)

従業員数10名以下の当所会員企業（一部30名程度の企業含む）への訪問
ならびに、当所相談窓口に来訪した企業、合計約50社

(実施方法)

聞き取り方式

(回答数)

53社

結果概要

昨年に引き続き行った企業の情報化に関するアンケートを実施した。今回、特に小零細企業の進展状況の実態調査をヒアリング形式で行った結果、企業の情報化は確実に小零細企業へも浸透してきている押し寄せていることがわかった。

パソコンの使用率においては前回の調査に比べ20%も使用率が上がっており、特にインターネットの使用状況については35%増と大幅に伸びている。経営者のITに対する理解度はかなり高く、企業の生き残りをかけてITを使用するといった企業が増えている。

企業の情報化が進んできている一方で、情報化を進める上での問題点も出てきている。具体的には「費用のかけ具合がわからない」、「担当できる人材がいない」、「取り組みの方法等相談できる会社がない」といったものであった。

詳細

「企業の情報化に関する実態調査」について (PDF形式：39.7KB)



このファイルはPDFファイルで提供しています。

PDFファイルをご覧になるには [Adobe Acrobat Reader](#) が必要です。

本件に関するお問い合わせは[情報化推進室](#)まで

[戻る](#)